あなたと議会の情報ネットワーク

あおぞら21

熊本県・みふね町議会

大谷翔平選手 ありがとう!

届いたグローブと一緒に記念写真（木倉小学校）

廃棄物処理施設に関する作業部会報告…… 2
議会ライブ配信　3月議会よりはじめます …… 4
崇城大学通信　第５号…… 5

議会HPはこちら

No.196
1月議会
R6.2

廃棄物処理施設に関するヒヤリングを続けています

廃棄物処理施設に関する作業部会 部会長　福永　啓

これまで、町執行部、上益城広域連合、事業者（シムファイブス）という「事業を計画する立場」に対するヒヤリングを２回行ってきたが、現在は、町民及び町内各種団体からのヒヤリングを行っているところである。

令和６年１月５日に、御船町の産廃施設建設を考える会及び考える会から呼びかけられた方を含め７名、１月25日の午後４時から御船町商工会及び企業連絡協議会の方々４名と町民の方から応募があった１名、同日６時30分からは、七滝中央小学校の保護者の方々11名から、御船町上野地区に施設整備が予定されている廃棄物処理施設に関する全員協議会を開催し、それぞれヒヤリングを行った。

１月５日（金）　御船町の産廃施設建設を考える会

１月５日のヒヤリングでは、環境に与える影響や交通量増加等全体的に新たな廃棄物施設整備計画に関する不安の声が多く、以前の計画である上益城５町による一般廃棄物処理施設整備計画に関する不安の声や、廃棄物処理のありかたについての意見もあった。

町民及び町内各種団体からのヒヤリング第１回目となった１月５日の意見聴取の様子。

ヒアリングは下記の内容で行いました

1.上野地区に整備が計画されている廃棄物処理施設についてどのような不安・期待がありますか

2.上野地区に整備が計画されている廃棄物処理施設はどのようにあるべきだと思いますか

3.その他廃棄物処理施設に関する意見、要望等をお聞かせください

作業部会
QR コード

廃棄物処理施設に関する作業部会が今まで行ってきたヒヤリングの内容については、御船町議会ホームページに要約ができ次第公開している

１月25日（金）　企業連絡協議会・商工会・町民公募・七滝中央小学校PTA

１月25日午後のヒヤリングでは、新たな計画に期待する声がある一方で、施設整備予定地の地質についての不安の声などもあった。

同日夕刻、七滝中央小学校で行われたヒヤリングでは、通学路において交通量が増加することに関する不安の声が多く聞かれ、なぜここなのか、地域にとってのメリットが感じられない、等と言った声が聞かれた。

今回のヒヤリングの趣旨は、議会における廃棄物施設整備に関する協議を始めるにあたり、町民の方々や、町内企業・団体等の方々の不安や期待を議会として確認し、議員間で共有することである。

次回、３月１日午前10時御船町役場３階審議会室にて、公募に応募された町民の方々のヒヤリングを行ったうえでこれまでのヒヤリング内容をまとめ、その後、多様な立場の専門的知見を有している方々からヒヤリングを行い、それら課題や疑問について、専門的立場からの意見を伺う事としている。

その後の流れとしては、「事業を計画する立場」「住民の立場」「専門的知見を持つ者の立場」の３者からのヒヤリングを踏まえて、議会としての考え方を整理したうえで再び、住民の方々との意見交換会を開催など、環境アセスメントが行われている約２年の間に議会として、廃棄物処理施設に関する研究や協議を進めることができればと考える。

そして、環境アセスメントが終了するまでに、議会としての考え方や方向性を町民の方々に示すことができればと考えている。

1月25日、七滝中央小学校の教室をお借りしてヒヤリングを行った

ご協力ありがとうございました

１月25日　企業連絡協議会、商工会、町民公募の方々とのヒヤリング

議会ライブ配信

3月議会よりはじめます

御船町議会では、より多くの町民の皆様に本会議を見ていただけるよう、インターネット動画配信サイトYouTube（ユーチューブ）により、会議の様子をインターネット上で配信します。

アクセス方法

1 御船町ホームページから御船町議会をクリック

2 議会配信をクリック

注意!

※ 画像は計画段階のものです。また、動画配信時期やアクセス方法等は変更となる場合がありますので、ご了承ください。

※ 配信映像の著作権は御船町議会に属します。無断での転載や改編は出来ません。

※ 配信している映像は御船町議会の公式記録ではありません。

※ YouTube で表示される広告は御船町議会とは一切関係ありません。それらの広告によって生じた損害については一切責任を負いません。

崇城大学通信 第5号

文責：崇城大学情報学部　　堀、新美、深川、萩尾、羽田野、藤本、吉川

御船町の人口が増えている！？

御船町の人口は2020年まで減少していたが、
2020年を機に人口が増加傾向にある

出典：住民基本台帳に基づく人口、
人口動態及び世帯数(総務省)

どうして人口が増加した？

御船町の年代別人口分布を見てみると、人口が増加
している2020年から2023年において、出生数が
死亡者数を上回っている年はない

年度	出生数	死亡者数
2020	109	227
2021	113	206
2022	112	251
2023	123	230

出典：年代別人口分布 / 御船町 (town.mifune.kumamoto.jp)

つまり人口が増加した理由は・・・
→新しく御船町に移住してきた人が増加したから！

なぜ移住してきた？

ChatGPTに聞いてみた
「地方に移住する理由は何が考えられる？」
すると、8つの答えが返ってきた

- 自然環境と景観
- 静けさと平和
- 住環境と不動産価格
- 交通とアクセス
- コミュニティと人間関係
- 費用と生活負担
- エコロジーと持続可能性
- インフラとサービス

3.住環境と不動産価格に注目してみる！

令和5年の地価の平均価格を比べてみると、
熊本県の平均を大きく下回っている。
つまり、熊本市などに比べて、低予算で
家を立てることができる

場所	平均価格(円/m²)
御船町	28,800
熊本県	98,873

出典：国土交通省地価公示

御船町の各年度の12月の人口・世帯数を比
べてみると、人口が増加している2020、
2021年から大きく世帯数が増加している。

年度	世帯数(戸)
2018	7,041
2019	7,035
2020	7,106
2021	7,248
2022	7,329
2023	7,421

出典：人口・世帯数/御船町

つまり、御船町に新しく家を建て、
移住する人が増加したのではないか！

■発行：熊本県御船町議会　■責任者：（議長）森田優二　住所：〒861-3296 熊本県上益城郡御船町大字御船995-1　電話096-282-1386　FAX096-282-1476　メール：gikai@town.mifune.lg.jp
■議会広報編集特別委員会（委員長）増田安至（副委員長）作田豊明　（委員）田上英司、岩永宏介、中城峯雄、清水聖

かがやく人

野球というコミュニケーション

荒瀬
宮﨑　出

学童野球チームとして創部48年目を迎える「御船城山少年野球クラブ」で昨年の1月から監督をしています。

昨年のスタートは不安ばかりでしたが、終わってみると上益城郡内の主要な大会で2度の栄冠を勝ち取り、緊張感の中からも子供たちの成長を感じることが出来ました。

試合になれば低学年の子は泥遊びする子や、寝てしまう子もいますが何かしらの「役割」をお願いするようにしています。この役割を果たすことでチームに絆が生まれ、土日の練習終わりには学年関係なく一緒に遊んでる姿を見て嬉しく思います。

この年代で覚えるコミュニケーション能力が非常に大事だと思っており、相手チームの選手とも次の年代でも共に競い合い「横のつながり」を大事にすることで、生涯続けられる数少ないスポーツだと思い指導にあたっています。

保護者の皆様にも「野球を始めたことで宿題をするようになりました。」あるいは「ユニフォームや道具以外にも物を大事にするようになりました。」と嬉しい声を掛けて頂いてます。

毎年、卒団式で卒団生が指導者にもお礼の手紙を書いてくれますが、何気なく言った我々の一言で頑張れたと伝えてくれます。このご褒美を貰うために責任を感じながら今年も精一杯向き合います。

月曜と木曜はお休みですが、平日も夕方6時から町民グランドで練習してますので皆様も子供達の応援をお願い致します。

3月の議会

1日　全員協議会

7日　議会（～15日）

表紙のこぼれ話

1月下旬にロサンゼルス・ドジャース所属の大谷翔平選手より町内の小学校へグローブが寄贈された。グローブを持つこどもたちの目がキラキラしていたのがとても印象的だった。今後こどもたちでグローブで遊ぶ際の約束事を決め、使っていくそう。

嬉しそうに手に取る小学生
（小坂小学校）

風　地域おこし協力隊との意見交換会 vol.5

左から茅原さん、坂本さん

２月５日に町観光協会所属の坂本李子さん（令和５年２月１日委嘱）と、茅原嗣織さん（令和４年７月１日委嘱）の２人と意見交換を行った。坂本さんは前号に登場した新太朗さんと夫婦で、東京に10年ほど居住されていた。協力隊の活動は、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の支援を行っている。東京に居住していた頃の経験を活かして観光協会の「おみやげ事業」に取組まれ、町特産品認定商品「御船のいさぎ」（以下「いさぎ商品」）のブラッシュアップに力を入れている。茅原さんは、大学を卒業後、地域の観光インストラクターの資格をとり、町全体の魅力を発信するマネージメントに取組んでいる。協力隊の活動として、御船の来訪者に町を回遊してもらうためのイベント企画や運営等をしている。地方への新たな人の流れを創出するための制度である地域おこし協力隊の取り組みを更に推進していけるよう、議会としても応援していきたい。

広報編集特別委員会 委員長　**増田安至**